

おじゃまします！

移動博物館・出前授業 ～その4～

県立郷土館では、学校や各種団体を対象に、移動博物館や出前授業を行っています。

この連載では、移動博物館などの郷土館の活動について、実際の使用例などを交えてご紹介します。

今回は、小学校4年社会科「きょう土につたわるねがい」をテーマに行った出前授業の様子を紹介します。

申し込みは青森市の小学校からで、合浦公園をつくった水原兄弟を地域教材として取り上げ、土木工事に使った道具を体験させたいとのことでした。また、「この活動を通して子どもたちに昔の土木工事の大変さを実感させ、公園作りにかかる願いや思いを考えさせたい」というねらいでした。



【昔の道具】



【ショイモッコ】

コに入れて持たせると、バランスがとれずふらふらしてしまい、「一輪車よりもむずかしいね」「ショイモッコしよえば立てないよ～」という感想があちこちから聞こえてきました。

何十年もかけて工事をした水原兄弟の苦労や願いは、そう簡単に実感できるものではありません。しかし、机に向かい頭の中だけで想像するよりも、はるかに意味のある授業になったのではないかと思います。

移動博物館・出前授業は、学習のねらいに応じて、展開や資料・体験内容を工夫して授業を行いますので、安心してご利用ください。

申込み・ご相談は、県立郷土館学芸課までお気軽に。

○ 問合せ・申込み先

青森県立郷土館 学芸課

TEL. 017-777-1585 FAX. 017-777-1588

ホームページアドレス <http://www.pref.aomori.lg.jp/kyodokan/>